

# お 知 ら せ

平成23年2月22日  
午後 2時00分  
大分県農林水産部

## 別府市赤松と中津市耶馬溪町において回収された野鳥の 確定検査結果について

本日、標記について環境省から連絡がありましたのでお知らせします。

### 記

**対象野鳥：** 別府市赤松で2月7日に回収されたオシドリ1羽  
中津市耶馬溪町で2月8日に回収されたハシブトガラス1羽

**検査結果：** 鳥取大学による高病原性鳥インフルエンザウイルス分離検査の結果、陰性を確認（ウイルスは検出されなかった）。

**今後の対応：** 県では、別府市赤松の野鳥の警戒レベルは、2月9日から発生地周辺10km圏内において、レベル3を前提として野鳥の監視を強化していたが、本日から警戒レベル2の対応とする。

また、中津市耶馬溪町の野鳥の警戒レベルは、2月17日に同箇所のおシドリ3羽で強毒性が確定しレベル3となっているため、引き続きレベル3の対応を続ける。

### 参考

- ・ 「警戒レベル2」とは、環境省が定める野鳥の警戒区分で、野鳥の監視とともに、感染リスクの高い33種(カモ類等水鳥、猛禽類、サギ類等)の野鳥については死亡1羽から、その他の種については死亡10羽以上から検査を実施する。
- ・ 「警戒レベル3」とは、環境省が定める野鳥の警戒区分で、野鳥の監視強化とともに、感染リスクの高い33種(カモ類等水鳥、猛禽類、サギ類等)の野鳥については死亡1羽から、その他の種については死亡3個体以上から検査を実施する。
- ・ 2月9日に回収された中津市耶馬溪町山移のおシドリ1羽ほか2羽については、鳥取大学で引き続き検査中。

#### 【問い合わせ先】

森との共生推進室 安東・玉田  
電話：097-506-3870・3876

